

第32回

# KYOのあけぼの

健康で、希望あふれる京都へ  
～今私たちができること～

## フェスティバル 2020

### 報告書

2020年 11月21日(土)

9:00～13:00

京都テルサ

(京都市南区東九条下殿田町70)

**【主催】**

**KYOのあけぼのフェスティバル実行委員会・京都府・京都府男女共同参画センター さら京都**

海外研修KYOのあけぼの会

京都女性スポーツの会

京都府商工会女性部連合会

京都府生活研究グループ連絡協議会

京都府連合婦人会

部落解放同盟京都府連合会女性部

京都市地域女性連合会

京都府更生保護女性連盟

京都府食生活改善推進員連絡協議会

(福) 京都府母子寡婦福祉連合会

国際ソロプチミスト京都近郊クラブ

JA京都府女性組織協議会

京都商工会議所女性会

京都府商工会議所女性会連合会

京都府女性の船「ステップあけぼの」

京都府民生児童委員協議会

国際ゾンタ京都Ⅰ・Ⅱゾンタクラブ

(五十音順) (実行委員会構成団体:17団体)

# Contents

■ プログラム	01
■ 主催者挨拶	02
・ 京都府知事 西脇 隆俊	
・ KYOのあけぼのフェスティバル実行委員会委員長 田中 田鶴子	
■ 京都府あけぼの賞表彰式	04
■ 講演	06
「ダチョウに魅せられて」	
・ 京都府立大学 学長 塚本 康浩 氏	
■ 展示	
・ 2022年に開催!ワールドマスタースゲームズ2021関西	14
・ 「もうひとつの京都」に訪れてみませんか?	15
・ WITHコロナ~京都にゆかりのある方々のメッセージ~	19
・ 男女共同参画の推進(府市連携による活動紹介)	20

# 第32回 *Kyo*のあけぼのフェスティバル 2020

## 健康で、希望あふれる京都へ ～今私たちができること～

男女が社会の対等な構成員として、さまざまな活動に参画し、輝くことができる男女共同参画社会の実現をめざして、平成元年度からKYOのあけぼのフェスティバルを開催しています。32回目となる今年、「健康で、希望あふれる京都へ ～今私たちができること～」をテーマに実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小しての開催となりましたが、講演をインターネットで同時配信し、会場以外からも参加していただきました。

京都府あけぼの賞表彰式では、様々な分野での先駆的な活動で功績の著しい、京都にゆかりのある女性5名に表彰状と副賞が贈られました。

また、講演では、京都府立大学 学長であり、獣医師・獣医学博士としても御活躍されている、塚本<sup>つかもと</sup> 康浩<sup>やすひろ</sup>氏をお呼びし、ダチョウ抗体を用いた独自の感染症対策に取り組みされてきた経験について、お話いただきました。

さらに、展示では、ワールドマスターズゲームズ2021関西や観光の情報はじめ、「WITHコロナ時代」に向けた京都にゆかりのある方々のメッセージなどを紹介し、男女共同参画の推進や府内の取組について、理解を深めることができました。

### Program

10:00 ▶ 10:20 主催者挨拶

10:20 ▶ 11:00 京都府あけぼの賞表彰式

11:00 ▶ 12:00 講演「ダチョウに魅せられて」

9:00 ▶ 13:00 展示

# 主催者挨拶

京都府知事

西脇 隆俊

*Nishiwaki Takatoshi*



第32回KYOのあけぼのフェスティバル2020を、このように多くの方々に御参加をいただき開催できましたことに厚く御礼申し上げます。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な社会活動が制限される中、企画から運営まで熱心に取り組んでいただいている田中 田鶴子実行委員長をはじめ、実行委員会の皆様、関係の皆様へ深く感謝申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症に関して一言申し上げます。この間、行動自粛、営業自粛等に御協力いただいた皆様、そして今もなお第一線で御奮闘いただいております医療従事者をはじめすべての皆様に、改めて心から感謝申し上げます。

連日報道されているように、全国的に最多の感染者数を更新し、京都府でも10月中旬以降、じわじわと感染者が増えました。11月17日に、1日あたり49人という過去最多を記録し、一日平均20人という特別警戒基準に達し、改めて注意を呼びかけた次第です。これから益々寒くなり、インフルエンザの流行期とも重なってまいります。緊張感をもって対応いたしますので、引き続き御協力お願いいたします。

また、本日「京都府あけぼの賞」を受賞されます5名の皆様、誠におめでとうございます。この賞は、男女共同参画による豊かな地域社会の創造に向けて、各分野の第一線で活躍され、すばらしい功績を挙げられた方を顕彰するものであり、受賞者の皆様のこれまでの御功績と御努力に深く敬意を表しますとともに、益々の御活躍を心からお祈りしております。

今年のフェスティバルは、「健康で、希望あふれる京都へ ～今私たちができること～」をテーマに京都府立大学の塚本康浩学長による講演のほか、観光など4つのテーマに関する展示を実施します。塚本学長は、獣医師・獣医学博士として、京都府立大学発のベンチャー企業「オーストリッチファーマ株式会社」を設立され、ダチョウの卵の抗体による様々な研究をされており、新型コロナウイルス感染症対策にも大きく貢献されています。

今日はマスクを取ってまいりましたが、私のマスクは塚本学長が開発されたものです。夏休みに、小学校5年生の女の子が全国の知事のマスクをイラストにした自由研究が話題になりました。私のところには、「いつも『ダチョウ力』のマスクです」とイラスト入りで紹介していただきました。

今回は、講演をインターネットライブ配信することにしていきますので、できる限り多くの府民の皆様にご覧いただき、健康で、心豊かな生活を営む一助となることを期待しております。

現在は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行という喫緊の課題を抱える一方で、少子高齢化・人口減少・気候変動、また働き方改革等、構造的な問題も進行しております。

京都府といたしましては、そうした様々な問題にも対応しながら、新しい時代にふさわしい男女共同参画の施策を推進してまいりますので、御臨席の皆様の力添えを心からお願い申し上げます。

結びにあたり、改めて本日受賞されます皆様に心から御祝い申し上げますとともに、御臨席の皆様へ御健勝、御多幸をお祈りいたしまして、私のあいさつとさせていただきます。

KYOのあけぼのフェスティバル実行委員会

委員長 田中 田鶴子

*Tanaka Tazuko*



本日は「第32回KYOのあけぼのフェスティバル2020」を開催いたしましたところ、ご来賓の皆様方ははじめ多くの方々にお集まりをいただき、誠にありがとうございます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため、残念ながら規模を縮小しての開催となりましたが、皆様の御協力、御支援によりまして、このように開催できましたこと、誠に嬉しく存じておりますとともに、本フェスティバルが平成元年度から始まりまして、今年で32回を迎えますことは、ひとえに皆様の御協力、御支援の賜と心から感謝申し上げます。

本日栄えある「京都府あけぼの賞」を受賞されます皆様方、心からお祝い申し上げます。各分野で先進的に活躍され、第一線で輝いておられる女性の皆様、その御功績により表彰の栄に浴され、今後一層の御活躍が期待されるところでございます。改めまして、心から御受賞をお慶び申し上げます。

さて、今回は京都府立大学の塚本康浩学長をお招きし、「ダチョウに魅せられて」をテーマに、ダチョウ抗体を用いた独自の感染症対策に取り組まれてきた経験に基づいて、WITHコロナ時代にどうあるべきかについてお話いただきます。

コロナ禍においても、男女共同参画について多くの方々に理解を深めていただけるよう、実行委員会の皆様と企画、検討を重ね、塚本先生による講演をオンラインで配信することといたしました。

また、展示場におきましては、観光・スポーツをはじめ、「WITHコロナ時代」に向けた京都にゆかりのある方々のメッセージなど、工夫を凝らした展示も実施いたします。

これからの新しい時代において、一人ひとりが家庭や地域、職場において輝くことができる男女共同参画社会の実現に向けて、新しい一歩を踏み出される契機となれば、大変嬉しく思います。

最後になりましたが、今年度も、多くの方々に御協力いただき、KYOのあけぼのフェスティバルを開催できましたこと、改めて厚く御礼申し上げまして私のあいさつとさせていただきます。